

令和3年度 せつこっこクラブ 12月
「ベビーカーでミュージアム！」
開催結果報告

日 時：令和3年12月17日(金) 午前10時～11時10分
参加人数：0～3歳までのお子さんと保護者17名（内、子ども8名）
参加費：無料（保護者はコレクション展観覧料320円が必要）
職員：野田、名和、長岡、大村、丹野

「せつこっこクラブ」は子どもたちに三岸節子作品や芸術に親しんでもらうため、毎月1回を目安に開催しているワークショップです。

今回は、赤ちゃんや小さなお子さんと保護者を対象に、展覧会の鑑賞を中心としたプログラムを実施しました。ふだん、子ども連れでは遠慮しがちな美術館に、ぜひ子育て中の方も赤ちゃんも来て、リフレッシュしたりアートに親しんでいただきたいという取り組みです。



まずは、講義室にやわらかいカーペットを敷いた上で、手遊びと絵本の読み聞かせを行いました。『くっついた』の読み聞かせでは、お母さんとギュッとくっついた子も。初めての場所ですが、少しずつリラックスしていきます。



次に、小さなクリスマス工作を作りました。入口で撮ったお子さんの写真と、シールやマスキングテープなどをコラージュして、オーナメントにもなる記念フォトカードを作りました。

「ハート型がいい?」「シールはどれにする?」とお子さんと相談する方や、工作の

用具を回したりする中で、自然と参加者同士に会話が生まれてきます。

最後に、いよいよギャラリーに入ります。お話しできる子には、事前にギャラリーでのお約束を話しました。ギャラリーではコレクション展（常設展）「花の饗宴」を開催中で、三岸節子が得意とした花の油彩画を中心に展示しています。

初めて美術館に来た子も多く、ギャラリーに入ると、ベビーカーから照明の光やお友だちの様子をきょろきょろと眺めている赤ちゃんもいれば、お母さんの手を引っ張って絵の前に連れて行こうとする子もいます。赤ちゃんも小さな指を絵のほうに向けて、何かを指し示す仕草を見せてくれたり、お話しできる子は「葉っぱ!」「お花かな?」と絵に描いてあるモチーフを教えてくださいました。



最後に、クリスマス工作を受取って解散となりました。赤ちゃん向けのイベントで、初めて美術館に来た子も多かったのですが、どの子も落ち着いて過ごしていたのは、職員にとっても意外な発見でした。

当館では今後も、地域に根差した社会教育施設として、赤ちゃんからお年寄りまであらゆる世代の方にオープンにご利用いただけるよう、取り組みを続けていきたいと考えています。

(学芸員 野田)